

2017

京都開催の国際会議

2017.1.1~2017.12.31

平成 30 年 6 月発行

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

INDEX

はじめに	01
本国際会議統計に関して	02
〔1〕 2017年に京都で開催された国際会議<概要>	03
1 京都市域	03
2 京都府域（京都市域を除く）	03
〔2〕 2017年に京都で開催された国際会議<詳細>	04
1 京都市域内開催分	
〔1〕 年別 開催実績	04
〔2〕 会場別 開催実績（上位）	04
〔3〕 主要都市 開催件数	04
〔4〕 月別実績表	05
〔5〕 過去の月別 開催件数（京都市域分 / 全国）	05
〔6〕 総参加者数別 会議開催件数	06
〔7〕 海外参加者数別 会議開催件数	06
〔8〕 国内参加者数別 会議開催件数	06
〔9〕 参加国数別 会議開催件数	07
〔10〕 開催日数別 会議開催件数	07
〔11〕 分野別 会議開催件数・構成比	07
2 京都府域内開催分（京都市域を除く）	07
〔3〕 国際統計との比較	08
〔4〕 総参加者が1,000人以上または、 海外参加者が200人以上の国際会議（41件 / 会期順）	09
各種助成金制度のご案内	14
MICE サポートサービスのご案内	15
京都文化交流コンベンションビューロー主な事業内容	16
京都文化交流コンベンションビューロー概要	17

はじめに

2013年6月に京都が、日本のMICE誘致をけん引する「グローバルMICE戦略都市」に観光庁から選定され、さらに2014年10月に策定された「京都市MICE戦略2020」に則り、これまで京都府・京都市・京都商工会議所とともに、オール京都体制で積極的にMICE誘致を進めて参りました。

その結果2017年には、COP3以来23年振りとなる大型の国連会議である「国連犯罪防止・刑事司法会議」や「UNWTO/UNESCO観光と文化をテーマにした国際会議」をはじめ、多数の国際会議誘致に成功しました。

こうした中、2017年に開催された国際会議の件数は、4年連続で過去最高を更新し、京都府全体で335件を記録。京都市域では308件と初めて300件の大台を突破し、市域を除く府域でも29件と大幅に増加しました。

特に、京都大学をはじめとした大学での開催件数が昨年より54件増加しており、ここ数年取り組んできた大学連携強化の効果が現れた結果となりました。

また、9月の「世界神経学会議」は約21億円の経済効果を創出したほか、レセプションや付帯イベントとしてユニークベニューの活用や府域へのエクスカージョン、地下鉄・市バス利用のコンベンションパス導入による環境負荷の低減など、経済効果をも凌ぐ様々な成果を挙げる事ができました。

これは、京都市が2016年6月にアジアの都市として初めてグローバル・デスティネーション・サステナビリティ・インデックス(GDS[Global Destination Sustainability]-Index)に参画し、環境に配慮した取り組みを行うとともに、京都の文化を取り入れたサステナブルな会議の開催をMICE主催者とともに進めてきた好例といえます。

2018年も引き続き、会員企業・団体の皆様と、京都府・京都市・京都商工会議所をはじめ、国立京都国際会館、京都府警、各大学などステークホルダーの皆さまとの連携をさらに強化するとともに、支援制度の充実、誘致スタッフの増員など、より一層MICE誘致に向けて努力して参ります。

本統計は、2017年（1～12月）に京都で開催された国際会議の開催実績であり、是非ご高覧いただきましたうえ、京都における国際会議開催の現況についてご理解を深めていただければ幸いです。

最後に、本統計の作成にあたり各方面の関係者の皆様方より多大なるご理解とご協力を頂きましたこと、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

本国際会議統計に関して

◆ 本統計は2017年(1～12月)に、京都市域内で開催された国際会議と京都市域を除く京都府域で開催された国際会議の2区分を記載しています。

統計収集にあたっては(公財)京都文化交流コンベンションビューローが京都の各会議施設・大学・研究機関・各種団体並びに会議主催者のご協力を得て作成しました。

◆ 本統計における分析項目は日本政府観光局(JNTO)から発表された「2016年国際会議統計」と「2016年の京都市域で開催された国際会議データ」も参考にしています。

◆ 国際会議統計基準について

国際会議統計に関しては、主に

- ① JNTO (日本政府観光局)
- ② ICCA (国際会議協会：International Congress & Convention Association)
- ③ UIA (国際団体連合：Union of International Associations)

から発表される統計数値が参考にされるケースが国内では一般的です。

一方でその統計手法や基準が各々異なるため必ずしも単純に比較できないことに留意しながら各データを活用する必要があります。

団 体	国際会議基準(抜粋)
JNTO (日本政府観光局)	以下の①～④の全てを満たす会議 ① 主催者：「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数：50人以上 ③ 参加国：日本を含む3カ国以上 ④ 開催期間：1日以上
ICCA (国際会議協会： International Congress & Convention Association)	①開催国について：3カ国以上での持ち回りの開催実績がある会議 (2カ国間会議は除外) ②参加者総数：50人以上 ③開催期間：定期的に開催している(1回のみ開催した会議は除外)
UIA (国際団体連合： Union of International Associations)	(1) 国際機関・国際団体(UIAに登録されている機関・団体)の本部が主催又は後援した会議 ①参加者数：50人以上 ②参加国数：開催国を含む3カ国以上 ③開催期間：1日以上 又は (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議 ①開催国以外からの参加者(外国人比率)が少なくとも総参加者の40% ②参加者総数：300人以上 ③参加国数：5カ国以上 ④開催期間：3日以上

1 2017年に京都で開催された国際会議 < 概要 >

2017年に開催された国際会議件数は、京都市域・府域ともに過去最高となり、4年連続で過去最高を更新。

京都市域では、開催件数が前年比約10%増を記録し、初めて300件の大台を突破。2013年に「グローバルMICE戦略都市」に選定されて以降約1.7倍と着実に件数を伸ばし続けている。

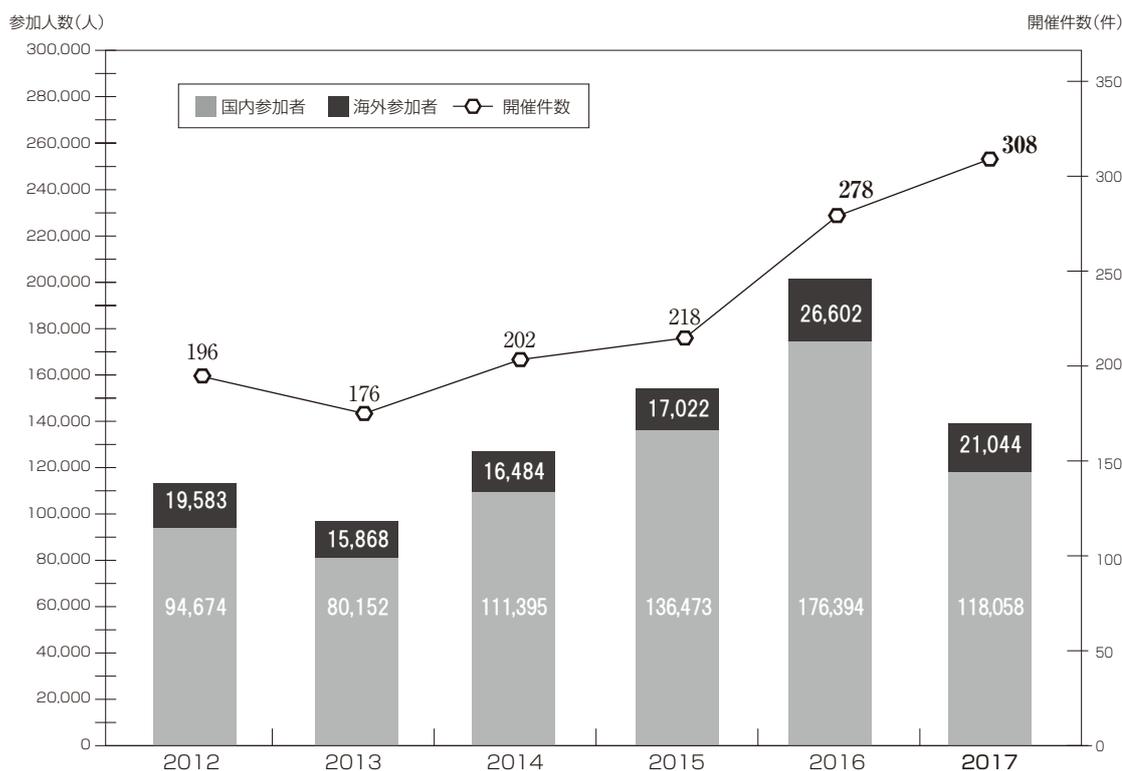
また、海外参加者数は2年連続で20,000人台を維持し、過去2番目の実績を記録、総参加者数に占める海外参加者の比率は15.1%となった。

総参加者数・国内参加者数は減少したが、これは国立京都国際会館におけるニューホール新築工事に伴い、隣接するホールや駐車場の利用制限が影響し、その結果、国内参加者の多い大規模会議が減少したことが原因と考えられる。

1 京都市域

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	前年比
開催件数	196件	176件	202件	218件	278件	308件	110.8%
海外参加者数	19,583人	15,868人	16,484人	17,022人	26,602人	21,044人	79.1%
国内参加者数	94,674人	80,152人	111,395人	136,473人	176,394人	118,058人	66.9%
総参加者数	114,257人	96,020人	127,879人	153,495人	202,996人	139,102人	68.5%

■ 年別開催件数及び参加者数(京都市域)



2 京都府域 (京都市域を除く)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	前年比
開催件数	6件	3件	10件	13件	15件	29件	193.3%
海外参加者数	206人	381人	383人	1,374人	1,453人	1,522人	104.7%
国内参加者数	1,013人	6,574人	2,916人	9,082人	18,458人	13,469人	73.0%
総参加者数	1,219人	6,955人	3,299人	10,456人	19,911人	14,991人	75.3%

2 2017年に京都で開催された国際会議 < 詳細 >

1 京都市域内開催分

〔1〕年別 開催実績

2017年は4年連続で過去最高の件数を更新し、初めて300件の大台を突破した。国立京都国際会館の工事の影響などもあり、総参加者数は減少したが、海外参加者数は2年連続で20,000人台を維持した。また、総参加者数に占める海外参加者の比率は15.1%となった。

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
開催件数	171	164	155	137	196	176	202	218	278	308
総参加者数	65,200	107,347	107,643	84,391	114,257	96,020	127,879	153,495	202,996	139,102
海外参加者数	11,966	12,941	16,363	16,093	19,583	15,868	16,484	17,022	26,602	21,044

〔2〕会場別 開催件数(上位)

開催件数は京都大学と国立京都国際会館が引き続き1位、2位となった。京都大学での開催が30件増加し、他大学も含めると大学での開催件数は昨年より41件増の188件となり全体の61.0%を占めた。一方で、工事の影響もあり国立京都国際会館での開催件数が19件減、総参加者数も約74,000人減となった。

また、岡崎MICE誘致推進効果により京都市勤業館みやこめっせでの開催件数が、はじめて10件の大台を突破した。

そして、京都薬科大学や京都ノートルダム女子大学、ハートンホテル京都など、昨年は開催がなかった14施設で19件の開催実績があり、京都市内での国際会議の分散化傾向も見られた。

施設名	開催件数		海外参加者数	国内参加者数	総参加者数	平均参加国数	
	前年	前年				前年	前年
京都大学(百周年時計台記念館、数理解析研究所、基礎物理学研究所、芝蘭会館等を含む)	133	103	4,411	15,266	19,677	14,302	7.7
国立京都国際会館	28	47	7,956	59,758	67,714	141,651	21.6
同志社大学	15	11	388	1,307	1,695	5,478	6.1
ウェスティン都ホテル京都	13	8	1,853	7,646	9,499	3,317	8.7
京都市勤業館みやこめっせ	13	9	1,613	17,158	18,771	24,777	11.1
立命館大学	11	13	224	924	1,148	1,152	6.8
メルパルク京都	9	4	234	2,596	2,830	2,686	4.0
京都工芸繊維大学	8	8	136	1,089	1,225	1,723	6.0
京都テルサ	8	10	583	1,471	2,054	4,727	12.4
京都リサーチパーク	8	8	529	1,055	1,584	1,720	13.4

※複数の会場(施設)で開催されている場合は、開催件数を各施設1件ずつ計上している。
※前年数値は、「2016 京都開催の国際会議冊子」分析データより。

〔3〕主要都市 開催件数

	京都	東京	横浜	名古屋	大阪	神戸	福岡
2007年	183 (2)	440 (1)	157 (3)	109 (5)	76 (8)	89 (6)	151 (4)
2008年	171 (4)	480 (1)	184 (2)	130 (5)	77 (8)	94 (6)	172 (3)
2009年	164 (4)	497 (1)	179 (3)	124 (5)	94 (6)	76 (8)	206 (2)
2010年	155 (4)	491 (1)	174 (3)	122 (5)	69 (9)	91 (6)	216 (2)
2011年	137 (4)	470 (1)	169 (3)	112 (5)	72 (8)	83 (6)	221 (2)
2012年	196 (3)	500 (1)	191 (4)	126 (6)	140 (5)	92 (8)	252 (2)
2013年	176 (4)	531 (1)	226 (3)	143 (6)	172 (5)	93 (8)	253 (2)
2014年	202 (3)	543 (1)	200 (4)	163 (5)	130 (6)	82 (9)	336 (2)
2015年	218 (4)	557 (1)	190 (5)	178 (6)	139 (7)	113 (8)	363 (2)
2016年	278 (3)	574 (1)	189 (6)	203 (5)	180 (7)	260 (4)	383 (2)
2017年	308	—	—	—	—	—	—

※「日本政府観光局(JNTO) 2016年国際会議統計」より。

※()内は全国順位。

※2017年の各都市の開催件数は現在未公表。

※2015年、仙台221件(3位)。

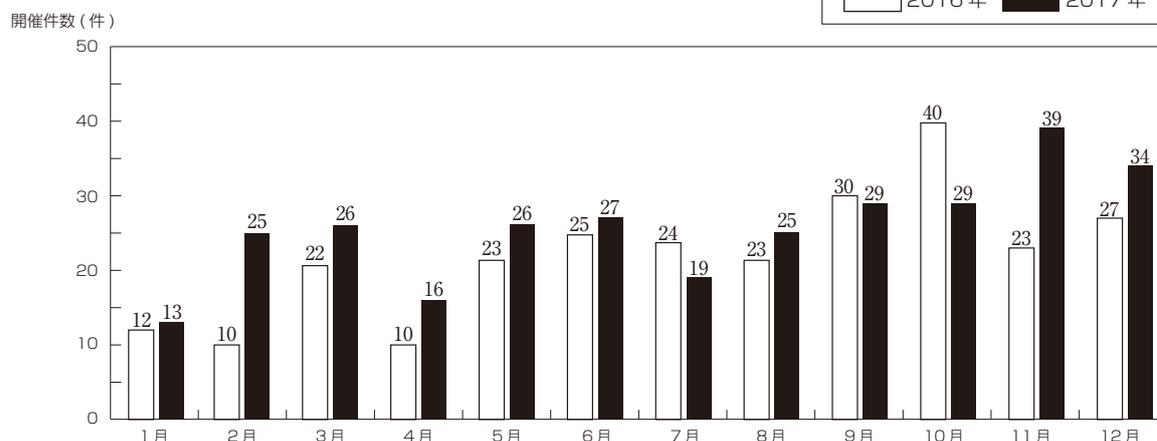
2 2017年京都で開催された国際会議 < 詳細 >

〔4〕月別実績表

2016年の月別実績で最も開催件数の多かった10月が減少に転じ、11月の件数が増加。依然としてハイシーズンのニーズは高いものの、秋期（9～11月）トータルでは前年比4件の微増にとどまり、11月開催も39件と増加したが、小規模かつ中旬以降の繁忙期を外した開催が大半を占めた。一方で、2月が前年比2.5倍増の25件になったのをはじめ、1月、6月、8月、12月のオフシーズンでの開催件数が増加。開催助成金の決定に当たってオフシーズンに手厚く配分するなど、開催時期の平準化に努めてきた効果が現れた。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
開催件数	13	25	26	16	26	27	19	25	29	29	39	34	308	25.7
割合(%)	4.2%	8.1%	8.4%	5.2%	8.4%	8.8%	6.2%	8.1%	9.4%	9.4%	12.7%	11.0%		
海外参加者数	351	502	1,142	2,445	2,063	1,532	738	1,625	6,310	1,448	1,920	968	21,044	1,754
国内参加者数	15,992	3,283	8,534	11,821	12,383	6,538	10,121	4,949	9,990	7,531	11,759	15,157	118,058	9,838
参加者総数	16,343	3,785	9,676	14,266	14,446	8,070	10,859	6,574	16,300	8,979	13,679	16,125	139,102	11,592
平均参加国数	6.6	5.4	7.1	11.8	7.3	9.0	7.7	9.6	19.6	11.2	8.9	6.0	9.2	

■ 2017年および2016年開催件数(京都市域分)



〔5〕過去の月別開催件数(京都市域分 / 全国)

1)過去の開催件数：京都市域分

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
京都市域分	2014年	6 3.0%	15 7.4%	21 10.3%	15 7.4%	22 10.8%	17 8.4%	16 7.9%	12 5.9%	27 13.3%	10 4.9%	26 12.8%	16 7.9%	203	17
	2015年	13 6.1%	9 4.2%	11 5.2%	10 4.7%	15 7.0%	16 7.5%	20 9.4%	14 6.6%	32 15.0%	21 9.9%	32 15.0%	20 9.4%	213	18
	2016年	12 4.5%	10 3.7%	22 8.2%	10 3.7%	23 8.6%	25 9.3%	24 8.9%	23 8.6%	30 11.2%	40 14.9%	23 8.6%	27 10.0%	269	22

※合計がP4の(1)年別開催実績の同年の数値と異なるのは、KCVB調べとJNTO調べの誤差の範囲であり、傾向には影響を与えない。

2)過去の開催件数：全国

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
全国	2014年	111 4.3%	197 7.6%	233 9.0%	126 4.9%	170 6.6%	210 8.1%	247 9.5%	163 6.3%	308 11.9%	292 11.3%	360 13.9%	173 6.7%	2,590	216
	2015年	136 4.8%	175 6.1%	391 13.7%	119 4.2%	207 7.3%	235 8.3%	218 7.7%	163 5.7%	321 11.3%	339 11.9%	372 13.1%	171 6.0%	2,847	237
	2016年	187 6.0%	206 6.6%	301 9.6%	140 4.5%	219 7.0%	266 8.5%	292 9.4%	196 6.3%	339 10.9%	395 12.7%	368 11.8%	212 6.8%	3,121	260

※「日本政府観光局(JNTO)2016年国際会議統計」より。

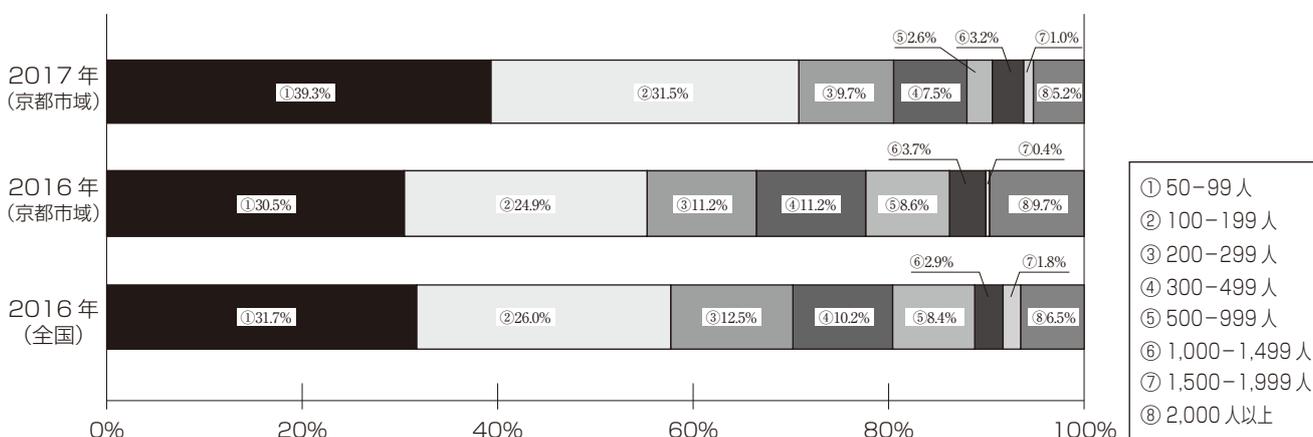
2 2017年京都で開催された国際会議 < 詳細 >

〔6〕総参加者数別 会議開催件数

100人未満の会議が前年より39件増加するなど、500人未満の中小規模会議の割合が全体の88.0%を占め、前年より約10ポイント上昇。大学開催の中・小規模会議の件数増加が割合を押し上げた結果となった。また、国立京都国際会館の工事による影響もあり、参加者2,000人以上の開催件数が10件減少した。

参加者数	50-99人	100-199人	200-299人	300-499人	500-999人	1,000-1,499人	1,500-1,999人	2,000人以上	
2017年	121	97	30	23	8	10	3	16	
割合(%)	39.3%	31.5%	9.7%	7.5%	2.6%	3.2%	1.0%	5.2%	
2016年	82	67	30	30	23	10	1	26	
割合(%)	30.5%	24.9%	11.2%	11.2%	8.6%	3.7%	0.4%	9.7%	
全	2016年	988	813	390	319	264	88	55	204
割合(%)	31.7%	26.0%	12.5%	10.2%	8.4%	2.9%	1.8%	6.5%	
国	2015年	850	743	334	298	260	83	61	218
割合(%)	29.9%	26.1%	11.7%	10.5%	9.1%	2.9%	2.1%	7.7%	

※2016年数値は、「2016 京都開催の国際会議冊子」より。※全国数値は、「日本政府観光局(JNTO)2016年国際会議統計」より。



〔7〕海外参加者数別 会議開催件数

大学内での開催件数の増加により、海外参加者数100名未満の会議が増加した。総参加者数に占める海外参加者の比率は15.1%となった。その内、海外参加者が総参加者の半数以上を占める会議は65件で、前年より増加した。

参加者数	1-9人	10-49人	50-99人	100-199人	200-299人	300-499人	500-999人	1,000人以上
2017年	102	113	48	24	6	8	6	1
割合(%)	33.1%	36.7%	15.6%	7.8%	1.9%	2.6%	1.9%	0.3%
2016年	80	92	31	32	10	10	11	3
割合(%)	29.7%	34.2%	11.5%	11.9%	3.7%	3.7%	4.1%	1.1%

※2016年数値は、「2016 京都開催の国際会議冊子」より。

〔8〕国内参加者数別 会議開催件数

500人未満の中・小規模会議が前年より47件増加、全体の89.3%を占めた。

参加者数	1-9人	10-49人	50-99人	100-199人	200-299人	300-499人	500-999人	1,000-1,499人	1,500-1,999人	2,000人以上
2017年	5	75	102	60	20	13	9	6	4	14
割合(%)	1.6%	24.4%	33.1%	19.5%	6.5%	4.2%	2.9%	1.9%	1.3%	4.5%
2016年	0	52	74	53	23	26	13	3	4	21
割合(%)	0.0%	19.3%	27.5%	19.7%	8.6%	9.7%	4.8%	1.1%	1.5%	7.8%

※2016年数値は、「2016 京都開催の国際会議冊子」より。

〔9〕参加国数別 会議開催件数

中・小規模会議の件数増加に伴い、参加国数が15カ国未満の会議が増加。3～5カ国の開催件数が全体の約半数を占めた。

参加国数	3-5カ国	6-9カ国	10-14カ国	15-19カ国	20-29カ国	30-49カ国	50カ国以上
2017年	156	56	48	19	17	7	5
割合(%)	50.6%	18.2%	15.6%	6.2%	5.5%	2.3%	1.6%
2016年	116	44	41	26	20	15	7
割合(%)	43.1%	16.4%	15.2%	9.7%	7.4%	5.6%	2.6%

※2016年数値は、「2016 京都開催の国際会議冊子」より。

〔10〕開催日数別 会議開催件数

1～2日開催の件数が大幅に増加し、全体の約55.5%以上を占めた一方、4日間以上の長期開催の件数は、ほぼ同数となった。大学における中・小規模会議の増加傾向により、短期間開催の件数も増加傾向を示した。

開催日数	1日	2日	3日	4日	5日	6-7日	8日以上
2017年	79	92	60	43	22	9	3
割合(%)	25.6%	29.9%	19.5%	14.0%	7.1%	2.9%	1.0%
2016年	50	62	79	34	26	12	6
割合(%)	18.6%	23.0%	29.4%	12.6%	9.7%	4.5%	2.2%

※2016年数値は、「2016 京都開催の国際会議冊子」より。

〔11〕分野別 会議開催件数・構成比

「科学・技術・自然」分野の割合が前年同様ほぼ半数を占めた一方、大規模会議の多い「医学」分野の割合が減少した。これまでの傾向は、「科学・技術・自然」「医学」「芸術・文化・教育」の順だったが、2017年は「芸術・文化・教育」分野の件数が倍増した。これは、文化庁の京都移転が正式に決定し、これまで以上に文化への注目度が高まり、京都での開催が促進されたことによるものと考えられる。

分野	2017年		2016年		全 国	
	開催件数	割合(%)	開催件数	割合(%)	2016年	2015年
科学・技術・自然	152	49.4%	137	50.9%	45.7%	42.9%
芸術・文化・教育	66	21.4%	27	10.0%	11.0%	11.8%
医学	42	13.6%	56	20.8%	18.6%	19.2%
社会	19	6.2%	17	6.3%	5.9%	6.8%
政治・経済・法律	15	4.9%	14	5.2%	10.2%	8.8%
産業	5	1.6%	11	4.1%	3.8%	4.5%
社交・親善	5	1.6%	4	1.5%	2.3%	2.5%
宗教	3	1.0%	2	0.7%	0.3%	0.3%
運輸・観光	1	0.3%	0	0.0%	0.5%	0.8%
スポーツ	0	0.0%	1	0.4%	0.5%	0.7%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1.3%	1.8%

※2016年数値は、「2016 京都開催の国際会議冊子」より。

※全国数値は、「日本政府観光局(JNTO) 2016年国際会議統計」より。

2 京都府域内開催分(京都市域除く)

開催件数・海外参加者数は4年連続で過去最高を記録。国内参加者数は減少したが、これは昨年、8,000人規模の大規模会議が開催されたためである。開催件数は大幅に増加し、とくに宇治市での開催件数は、10件から23件と大幅増となった。2016年に新設した「京都府MICE助成金制度」を効果的に活用し、積極的なセールスを行うなど、京都府域で開催される国際会議の支援強化に努めてきた効果が表れてきた。

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	前年比
開催件数	6件	3件	10件	13件	15件	29件	193.3%
海外参加者数	206人	381人	383人	1,374人	1,453人	1,522人	104.7%
国内参加者数	1,013人	6,574人	2,916人	9,082人	18,458人	13,469人	73.0%
総参加者数	1,219人	6,955人	3,299人	10,456人	19,911人	14,991人	75.3%

3 国際統計との比較

1 ICCA 統計 (2017 年) での各都市ランキング

京都は46件で世界50位を記録。国立京都国際会館の工事などマイナス要因があるなか、東京に次ぐ国内2位を維持した。

日本国内では、横浜、大阪、神戸、福岡など主要都市の開催件数が減少する一方で、札幌、つくば、千葉、金沢、名古屋などの開催件数が大幅に増加。国内都市での分散化傾向がみられた。

世界では、開催件数が12,563件と前年より336件増となった。世界ランキングは、昨年同様欧州での開催が上位10位中8都市を占め、ベルリン、ロンドンやマドリッドなど昨年開催件数を減らした各都市の復調が見られた。

<国内都市上位ランキング及び世界ランキング>

都市名	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2017年国内順位
東京	69(31位)	79(26位)	90(22位)	80(28位)	95(21位)	101(18位)	1
京都	61(36位)	43(55位)	47(54位)	45(57位)	58(44位)	46(50位)	2
名古屋	11(207位)	15(159位)	11(208位)	14(182位)	16(160位)	25(104位)	3
札幌	16(142位)	13(182位)	19(125位)	18(139位)	17(152位)	24(108位)	4
福岡	23(97位)	12(193位)	15(164位)	30(85位)	23(111位)	17(156位)	5
大阪	11(207位)	20(117位)	10(222位)	23(115位)	25(100位)	17(156位)	5
横浜	18(125位)	17(148位)	18(134位)	22(117位)	21(120位)	16(165位)	7
金沢	6(319位)	4(-)	5(354位)	6(335位)	8(301位)	14(193位)	8
千葉	-	7(294位)	6(318位)	7(301位)	5(392位)	12(228位)	9
つくば地区	11(207位)	8(265位)	9(240位)	9(254位)	6(357位)	11(248位)	10
神戸	22(100位)	18(136位)	15(164位)	13(191位)	21(120位)	10(266位)	11
広島	9(241位)	7(294位)	5(354位)	4(-)	9(279位)	8(299位)	12
北九州	5(363位)	7(294位)	3(-)	5(373位)	7(324位)	8(299位)	12
仙台	6(319位)	5(371位)	6(318位)	9(254位)	13(203位)	7(325位)	14
奈良	11(207位)	12(193位)	16(152位)	8(276位)	15(169位)	7(325位)	14
岡山	-	-	-	-	-	7(325位)	14

※件数(カッコ内は世界順位)
 ※順位・件数は各年発表時点の ICCA Statistics Report 参照

<2017年世界都市上位10位ランキング>

順位	都市名	開催件数	2016年開催件数と順位
1	バルセロナ	195	181(3)
2	パリ	190	196(1)
2	ウィーン	190	186(2)
4	ベルリン	185	176(4)
5	ロンドン	177	153(5)
6	シンガポール	160	151(6)
7	マドリッド	153	144(7)
8	プラハ	151	126(11)
9	リスボン	149	138(9)
10	ソウル	142	137(10)

※順位・件数は各年発表時点の ICCA Statistics Report 参照

<2017年アジア・オセアニア・中近東地域都市上位15位ランキング>

順位	都市名	開催件数	2016年開催件数と順位
1	シンガポール	160	151(1)
2	ソウル	142	137(2)
3	香港	119	99(5)
4	バンコク	110	121(3)
5	東京	101	95(6)
6	北京	81	113(4)
7	シドニー	76	61(10)
7	台北	76	83(7)
9	メルボルン	67	58(11)
10	クアラルンプール	65	68(9)
11	上海	61	79(8)
12	ニューデリー	59	39(16)
13	京都	46	58(11)
14	マニラ	42	46(14)
15	パリ	40	43(15)

※順位・件数は各年発表時点の ICCA Statistics Report 参照

2 UIA 統計 (2016 年) での各都市ランキング (2017 年統計は現在未公表)

<2016年世界都市上位10位ランキング>

順位	都市名	開催件数
1	ブリュッセル	906
2	シンガポール	888
3	ソウル	526
4	パリ	342
5	ウィーン	304
6	東京	225
7	バンコク	211
8	ベルリン	197
9	バルセロナ	182
10	ジュネーブ	162

※上記の数値は、UIA が設定する統計基準に基づいたデータを、日本政府観光局(JNTO)が順位付けしたものとなる。(基準の詳細はP2を参照)

<2016年国内都市上位ランキング>

順位		都市名	開催件数
世界	国内		
6	1	東京	225
32	2	京都	53
38	3	横浜	36
66	4	大阪	23
76	5	福岡	20
83	6	神戸	18
97	7	北九州	15

※順位は判明している都市の順位のみを記載。

4

総参加者が 1,000 人以上または、 海外参加者が 200 人以上の国際会議(41 件 / 会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
1/19~1/22	公益社団法人日本青年会議所2017年度京都会議 Junior Chamber International Japan Kyoto Conference 2017	6	100	14,900	15,000	国立京都国際会館
2/11	「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式 『京都環境文化学術フォーラム』国際シンポジウム THE EARTH HALL OF FAME KYOTO	3	2	1,118	1,120	国立京都国際会館
3/17~3/20	日本農芸化学会2017 The 2017 Annual Meeting of the Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry (JSBBA)	10	150	4,504	4,654	ウェスティン都ホテル京都、 京都女子大学
3/23~3/24	2016 TPM Awards Ceremony	11	350	30	380	国立京都国際会館
4/20~4/22	第90回日本内分泌学会学術総会 The 90th Annual Meeting of The Japan Endocrine Society	5	10	3,339	3,349	京都市勤業館 みやこめっせ、 ロームシアター京都
4/26~4/29	2017年国際アルツハイマー病協会国際会議 32nd International Conference of Alzheimer's Disease International -ADI-	66	800	3,200	4,000	国立京都国際会館
4/27~4/28	CDPP 2017 19th International Conference on Developmental Psychopathology and Psychiatry	10	300	80	380	ウェスティン都ホテル京都
4/27~4/28	ICCEMID 2017 19th International Conference on Clinical, Experimental Microbiology and Infectious Diseases	10	300	80	380	ウェスティン都ホテル京都

4 総参加者が1,000人以上または、海外参加者が200人以上の国際会議(41件/会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
4/27~4/28	IOFFCA 2017 19th International Conference on Food Packaging and Food Contact Applications	10	300	80	380	ウェスティン都ホテル京都
5/15~5/17	第22回インターコワフュール世界大会 22nd Intercoiffure World Congress -ICD-	10	400	600	1,000	リーガロイヤルホテル大阪、 京都ホテルオークラ、 京都市内各地
5/20~5/21	A 5th Of BitSummit(フィフス オブ ビットサミット)	30	900	8,446	9,346	京都市勤業館 みやこめっせ
5/26~5/28	国際人権NGO「ヒューマン・ライツ・ウォッチ」カウンシルサミット Human Rights Watch Council Summit 2017	10	200	60	260	ハイアット リージェンシー京都
6/1~6/3	第11回アジア心臓血管放射線学会 The 11th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging (ASCI2017)	22	274	331	605	ウェスティン都ホテル京都
6/5~6/8	VISI技術シンポジウム/VISI回路シンポジウム Symposia on VLSI Technology and Circuits	20	500	500	1,000	リーガロイヤルホテル京都
6/8~6/9	第41回日本頭頸部癌学会 The 41st Annual Meeting of Japan Society for Head and Neck Cancer	3	6	2,000	2,006	ウェスティン都ホテル京都
6/18	国際ヨガDAY 関西2017 in 京都 International Day of Yoga Kansai 2017 in Kyoto	6	5	1,048	1,053	京都市勤業館 みやこめっせ

4 総参加者が1,000人以上または、海外参加者が200人以上の国際会議(41件/会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
6/30	中南米7カ国の大使らによる市民講座「知りたい！ラテンアメリカ」	8	7	1,000	1,007	京都外国語大学
7/6~7/8	第26回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 The 26th Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics	18	89	6,083	6,172	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
7/14~7/15	第48回日本膵臓学会大会 The 48th Annual Meeting of the Japan Pancreas Society	5	11	1,284	1,295	京都市勤業館 みやこめっせ
8/3~8/4	比叡山宗教サミット30周年記念 世界宗教者平和の祈りの集い The 30th Anniversary of the Religious Summit Meeting on Mt. Hiei	20	100	1,700	1,800	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
8/23~8/27	第33回国際化学生態学/第9回アジア太平洋化学生態学合同会議 The Joint Meeting of the 33rd Annual Meeting of the ISCE and the 9th Meeting of the APACE (2017 ISCE/APACE)	33	230	120	350	龍谷大学深草キャンパス
8/27~9/1	国際材料研究学会連合 先進材料国際会議 IUMRS International Conference on Advanced Materials -IUMRS-ICAM-	43	789	1,119	1,908	京都大学吉田キャンパス
9/16~9/21	第23回世界神経学会議 XXIII World Congress of Neurology (WCN2017)	121	3,530	5,111	8,641	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
9/20~9/24	国際フランス語教授連合アジア太平洋地区大会 Congres Regional Asie Pacifique CAP FIPF	57	300	93	393	京都大学 百周年時計台記念館、 アンスティチュ・フランセ関西

4 総参加者が1,000人以上または、海外参加者が200人以上の国際会議(41件/会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
9/23~9/28	第34回日本TDM学会・学術大会 第15回国際TDMCT学会学術大会 The 34th Annual Meeting for The Japanese 15th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology	51	500	800	1,300	国立京都国際会館
9/25~9/29	第13回国際核融合炉工学会議 International Symposium on Fusion Nuclear Technology -ISFNT-13-	24	393	125	518	京都市勤業館 みやこめっせ
9/28~9/29	京都スマートシティエキスポ 2017 KYOTO SMART CITY EXPO 2017	23	631	9,887	10,518	けいはんなオープン イノベーションセンター、 国際高等研究所、 けいはんなプラザ
9/30~10/3	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム) 第14回年次総会 STS forum 2017, The 14th Annual Meeting	81	800	600	1,400	国立京都国際会館
10/20~10/22	第62回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 The 62nd Congress of the Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons	10	96	4,404	4,500	国立京都国際会館
10/31~11/3	第10回国際毛髪研究学会 10th World Congress of Hair Research (WCHR2017)	39	444	206	650	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
11/3~11/5	第51回日本てんかん学会学術集会(京都) The 51th Congress of The Japan Epilepsy Society in KYOTO	6	100	1,853	1,953	国立京都国際会館
11/9~11/15	国際パターン認識連盟 文書解析と認識に関する国際会議 ICDAR 2017 The 14th IAPR International Conference on Document Analysis and Recognition (ICDAR 2017)	30	250	250	500	京都テルサ

4 総参加者が1,000人以上または、海外参加者が200人以上の国際会議(41件/会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
11/10~11/12	第33回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ The 2017 Kyoto Prize Presenting Ceremony, Memorial Lectures, and Memorial Workshops	21	230	3,170	3,400	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
11/15~11/19	第64回日本臨床検査医学会学術集会 第29回世界病理臨床検査医学会連合会議(WASPaLM2017) WASPaLM2017 (World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine)	30	200	1,800	2,000	国立京都国際会館
11/23	あすのKyoto 地域創生フェスタ 「多文化共生と地域創生」	14	100	2,000	2,100	京都府立植物園
12/6~12/9	第30回日本内視鏡外科学会総会 The 30th Annual Meeting of the Japan Society for Endoscopic Surgery	11	48	6,652	6,700	国立京都国際会館、 グランドプリンスホテル京都
12/10	京都議定書誕生20周年記念 地球環境京都会議2017 Kyoto Conference on the Global Environment 2017	10	20	980	1,000	国立京都国際会館
12/15~12/17	日本歯周病学会60周年記念大会 The 60th Autumn Meeting of the Japanese Society of Peridontology	4	27	3,901	3,928	国立京都国際会館

(注)上記のほか、3件は公開不可の為、記載を省略。

各種助成金制度のご案内

京都市助成金制度

大規模国際コンベンション 開催支援助成金

- [対象] 国際会議
- [対象経費] 大規模国際会議の開催に要する経費
- [助成金額上限] 1,000万円
- [会期] 3日以上開催
- [参加人数] 500名～上限なし
- [海外参加者要件] 3箇国以上、参加者のうち海外参加者 100名以上
- [申請時期] 開催地決定前にご相談ください

大規模国際コンベンション 誘致支援助成金

- [対象] 国際会議
- [対象経費] 広報宣伝、印刷製本、会場借上等の経費等
- [助成金額上限] 100万円
- [会期] 3日以上開催
- [参加人数] 500名～上限なし
- [海外参加者要件] 3箇国以上、参加者のうち海外参加者 100名以上
- [申請時期] 開催地決定前

中規模・小規模 MICE 開催支援助成金

- [対象] ミーティング、インセンティブ、国際・国内会議
- [対象経費] 小規模・中規模会議等の開催に要する経費
- [助成金額上限] 小規模：20万円、中規模：50万円
※開催時期、規模、期間等に応じて金額を決定
- [会期] 2日以上開催
- [参加人数] 小規模：50～199名
中規模(ミーティング、インセンティブ)：200名～上限なし
中規模(国際・国内会議)：200～499名
- [海外参加者要件] なし
- [申請時期] 開催予定日1箇月前

京都らしい MICE 開催支援補助制度

※国際案件のみ各種助成金との併用可能

- [対象] ミーティング、インセンティブ、国際・国内会議、同窓会*
(*大学同窓会、企業OB会等)
- [対象経費] ((A)、(B)併用可能)
(A)京都らしい文化プログラム
式典やレセプション等における、舞、和太鼓、茶道、着物着付、鏡開き等の経費
(B)京都らしい伝統産業プログラム
参加者等に対して配布する伝統産業製品の購入経費及び工房見学、体験費用等
- [補助金額の上限額]
(A)京都らしい文化プログラム：費用の7割補助(上限30万円)
(B)京都らしい伝統産業プログラム：費用の全額補助(上限30万円)
(伝統産業製品の購入金額が100万円以上の場合は、50万を補助します。)
※(A)、(B)併用の場合も合計で上限30万円となります。
- [会期] 1日以上開催
※宿泊要件あり。
参加者の7割が原則京都市市内での宿泊を伴うこと。
(同窓会除く)
- [参加人数]
ミーティング、インセンティブ、国際・国内会議：30名～上限なし
同窓会：100名～上限なし(うち京都市外在住者5割以上)
- [海外参加者要件] なし
- [申請時期] 開催予定日1箇月前

京都府助成金制度

京都府 MICE 助成金制度

- | | | |
|--|---|---|
| コンベンション開催支援
[対象] 国際会議
[地域] 京都府域(京都市内を除く)
[会期] 2日以上
[参加者要件]
日本を含む3カ国(地域)以上かつ50名以上
[助成金額上限] 50名～199名：上限20万円、
200名以上：上限50万円
[申請時期] 開催予定日1箇月前 | 分科会開催支援
[対象] 国際会議の分科会
[地域] 京都府域(京都市内を除く)
[参加者要件] 15名以上
[助成金額上限] 15名～99名：上限10万円
100名以上：上限20万円
[本体となる国際会議要件]
京都市を含む近畿2府4県で開催され、会期が
2日以上、参加者が日本を含む3カ国(地域)以上
かつ50名以上であること
[申請時期] 開催予定日1箇月前 | エクスカージョン支援申請
[対象] 国際会議のエクスカージョン
[地域] 京都府域(京都市内を除く)の寺社仏閣や施設
等の訪問・滞在が1か所以上含まれているコースであること
[参加者要件] 15名以上
[助成金額上限] 上限20万円
[本体となる国際会議要件]
京都市を含む京都府内で開催され、会期が2日以上、
参加者が日本を含む3カ国(地域)以上かつ50名以上
であること
[申請時期] 開催予定日1箇月前 |
|--|---|---|

その他支援制度

京都市ビジターズホスト^(※)活用支援制度

(※)「京都市ビジターズホスト」とは…
京都市に特化した深い知識と専門性、おもてなしの心と魅力ある人柄、まさに「京都品質」を
備えた通訳ガイドのスペシャリストが、京都市ビジターズホスト(KVH)です。

- [対象] 国際会議
- [対象経費] 京都市ビジターズホスト利用に係るガイド料金
- [対象となるプログラム等]
会期中、会期前後に実施されるエクスカージョンツアー
同伴者プログラム
招待者・招待者のご家族など、特別・限定されたツアー
- [対象言語] 英語、中国語、フランス語
- [会期等条件] 京都市内にて2日以上開催され、対象となる
エクスカージョンが京都市内で開催されること
- [海外参加者要件] 対象事業の参加国数が3箇国以上、参加予定者が50名以上
- [助成金額上限] 国際会議規模 50名～200名：3万円までの実費
国際会議規模 201名～500名：5万円までの実費
国際会議規模 501名以上：10万円までの実費
- [申請時期] 開催予定日1箇月前

MICEサポートサービスのご案内

Meeting (ミーティング)

企業のミーティング等

Incentive (インセンティブ)

企業が従業員の表彰や研修などの目的で実施する旅行等

Convention (コンベンション)

国際団体、学会、協会等が主催する総会、学術会議等

Event/Exhibition

(イベント/エキシビジョン)
文化イベント、展示会、スポーツイベント、見本市

誘致中～開催中までのサポート

◆各種助成金制度の活用

国際会議からミーティング、インセンティブまで、MICEのイベントタイプ、規模にあわせた助成金制度や、イベント記念品、通訳ガイドなどの費用を補助する制度など、様々な助成金制度をご用意しております。

◆京都PR映像の貸出

3パターンのイメージ映像から、用途に合わせた使用が可能です。

◆京都の写真画像の貸出

会議ウェブサイト、会議案内チラシ、プログラム等に活用できる京都の写真画像を貸出します。

『京都イメージバンク』

<https://kyoto-imagebank.com/ja>

開催決定前のサポート

1 誘致用京都PRツールの提供

絵はがき、舞妓ピンバッジなどの誘致用PRグッズを提供いたします。



2 京都PRバナーの貸出

京都開催をPRするためのバナースタンド一式を貸出いたします。



3 コンベンション主催者の視察受入れ支援

4 ビッドペーパー、プレゼン資料の作成支援

開催決定後のサポート

1 便利な観光地図、ガイドブックを提供

会議参加者用として、観光地図・観光ガイドブックをご用意しております。



2 お得な地下鉄・市バス一日乗車券の発売

通常900円の地下鉄・市バス共通1日乗車券が破格の700円で購入いただけます。フリーデザインも可能！

3 ユニークなレセプション会場の案内

京都らしい施設・会場をご紹介します！

4 府市民向け公開講座の広報支援

府市民向け公開講座を開催されるにあたり、広報に協力いたします。(チラシの配架協力)

その他、MICEの誘致・開催のための様々なアドバイスやサポートを行っておりますので、お気軽に京都文化交流コンベンションビューローまでご連絡ください。



Kyoto Convention & Visitors Bureau

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

TEL: 075-212-4140 e-mail: kyoto@hellokcb.or.jp

<https://meetkyoto.jp>

meetkyoto.jp

検索

(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 主な事業内容

国際観光コンベンション事業(公益目的事業)

コンベンション (MICE) 事業

■ MICE 関連情報の調査・収集・啓発

- ① 業界情報収集強化
- ② 大学・学術団体・学会へのコンベンション情報収集・啓発活動の強化
- ③ 統計調査・発行
- ④ MICE 振興に関わる課題解決策の推進
- ⑤ 「KYOTO スマートシティエキスポ」への事業協力等を含めた関西文化学術研究都市推進への参画

■ プロモーション事業

- ① 内外ネットワーク(情報収集力)の強化
- ② 政府関連特定会議等の誘致活動
- ③ 海外プロモーション活動
- ④ 国内プロモーション活動
- ⑤ MICE 主催者等の京都視察受入れ
- ⑥ 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

■ 開催支援事業

- ① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力
- ② MICE 開催支援に係る京都市の助成制度活用
- ③ 京都市「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の活用
- ④ 京都府「京都府 MICE 開催支援助成制度」の活用
- ⑤ オフサイト・レセプション等の企画・提案
- ⑥ 各種開催支援サービス制度の運用及び拡充

■ 広報宣伝事業

- ① メールマガジン、ホームページによる京都 MICE 関連情報の発信
- ② 国内外の MICE 専門誌等への情報提供及び取材活動への支援
- ③ 広報発表等を通じた MICE 振興の意義や効果などの関係業界・府市民への啓発

広域プロモーション事業

■ 宇治茶プレミアムブランド化事業

■ 各地域 DMO との連携によるインバウンドプロモーションの実施

京都市国際観光プロモーション業務の移管と京都市観光協会との連携事業

■ 国際観光プロモーション事業の移管

- 外国人観光客向け多言語コールセンター運営事業、○免税対応支援事業、○京都市認定通訳ガイド育成事業、○外国語研修実施事業、○クレジットカードの買い物環境整備支援事業、○海外情報拠点管理運営事業、○海外富裕層市場への取組事業、○京都市域内統計収集・分析強化、○ウェブサイトの運用事業、○ソーシャルネットワークの運用事業、○海外メディア取材誘致・露出強化事業、○海外における旅行博・旅行商談会・セールスコール事業

■ 京都市観光協会との連携事業

文化交流発信事業(公益目的事業)

古典の日推進事業

■ 古典の日推進事業

- ① 「古典の日」普及啓発事業
- ② 「古典の日フォーラム」の開催
- ③ 「古典の日朗読コンテスト」の開催
- ④ 「街かど古典カフェ」の開催

■ 情報発信・広報活動・関係団体との連携等

- ① ホームページによる「古典の広場」「古典の広場アカデミア」「平安文化プラットフォーム」等の開設

文化発信事業

■ 京都迎賓館支援事業

- ① 外国賓客のもてなし
- ② 参観支援・啓発関連(講演会など文化発信事業)

■ 京都創生推進フォーラム事業

- ① 「京都創生推進フォーラム(シンポジウム)」の開催
- ② 京都創生広報事業(ポスター作成等)

■ 京都デジタルミュージアム「京都見聞録」活用事業(全8作品)

- ① 会議場・ホテル等集客施設での上映
- ② 会議主催者や団体等への貸出し

■ 情報誌「四季彩京都」の発行(年2回)

共益・収益事業

■ 賛助会員制度の運営

- ① 新規勧誘の促進
- ② 会員に対する情報提供
- ③ 会員の集いの開催

■ 「京都文化振興友の会」の運営

■ 京都迎賓館記念品の企画・販売

その他の事業(公益目的事業)

■ ホームページの運用事業

■ 会報誌「コンベンションビューロー通信」の発行(年4回発行)

■ 関係団体との連携等

「京の七夕」、「時代祭」、「京都花灯路」など オール京都事業への参画

概 要

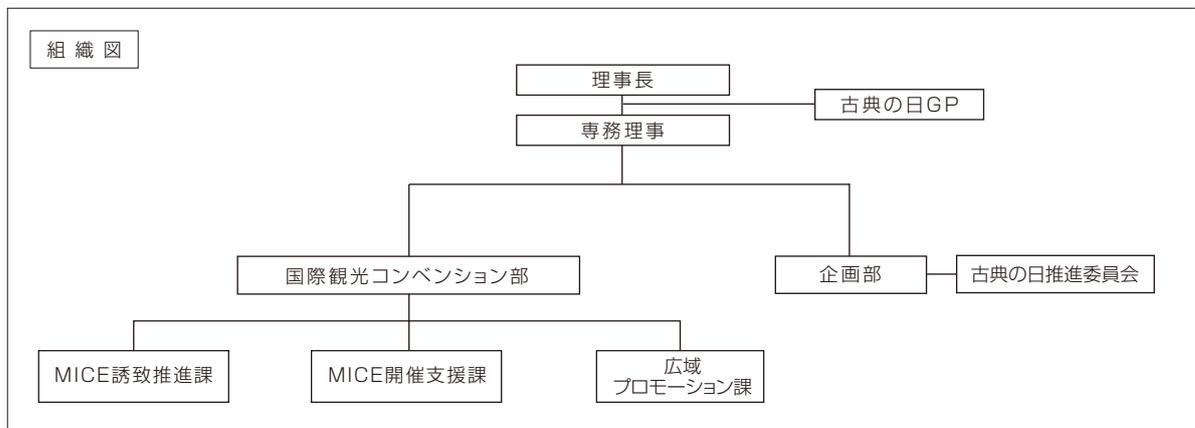
- 1 名 称 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
- 2 所 在 地 京都市中京区烏丸夷川上ル少将井町240番地 京都商工会議所5階
- 3 設 立 平成19年1月9日
※平成23年10月3日付で公益財団法人へ移行登記
- 4 目 的 文化・芸術の普及向上に努めるとともに、国内外のコンベンション誘致及び賓客等の入洛を促すことにより、京都文化を広く世界に発信し、国際的な交流拠点としての「京都」の魅力をより一層高め、活力あふれる新たな「京都」の創造に寄与する。
- 5 事業概要 (1) 京都の文化・芸術等のための事業推進と府内外への情報発信
(2) コンベンション等の誘致及び賓客・海外観光客の招聘、入洛のための事業推進
(3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

6 組 織

- (1) 役員等
 - 名誉顧問 千 玄室 (茶道裏千家大宗匠)
 - 顧 問 西脇 隆俊 (京都府知事)
 - 門川 大作 (京都市長)
 - 評議員会長 柏原 康夫 (京都府観光連盟会長・京都市観光協会会長)
 - 評 議 員 10名 (産業・経済・文化・学術・行政等公的団体)
 - 理 事 長 村田 純一 (京都商工会議所名誉会頭)
 - 専務理事 山内 秀顕 (京都文化交流コンベンションビューロー)
 - 理 事 14名
 - 監 事 中村 健児 (京都銀行協会専務理事)
 - 佐近 大祐 (京都府信用金庫協会)

(2) 賛助会員数 396 会員(企業 / 団体)

(3) 事 務 局



2017 京都開催の国際会議冊子

平成 30 年 6 月発行

編集・発行：

公益財団法人

京都文化交流コンベンションビューロー

TEL: 075-212-4140

FAX: 075-212-4121

e-mail: toukei@hellokcb.or.jp

URL: meetkyoto.jp



Kyoto Convention & Visitors Bureau

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

<https://meetkyoto.jp>

検索

